



子ども食堂は、子どもの孤立、孤食を支援する目的から始まった活動でしたが、現在では全国的に「地域の多世代交流の場所」へと変化してきています。本市では、平成31年にスマイルキッチン「にんぎまんま」が発足し、4月に5周年を迎えました。今回の特集では、子どもに限らず、幅広い世代が関わりを持てる場所として温かな関係が生まれる「子ども食堂」をご紹介します。



スマイルキッチン  
「にんぎまんま」  
代表 茅野 寿満子さん

地域の誰もが気軽に利用できる食堂を目指して

子ども食堂は、子どもの貧困や共働き家庭の子がひとりぼっちで食事をする「孤食」の問題を背景として誕生しました。

私たち「にんぎまんま」は、料理大好き、ボランティアも喜んでという仲間が集まり、体験型の子どもの食堂として、見切り発車同然にプレオープンしました。手探りの活動を進め、5周年を迎えることができました。

これもひとえに、にんぎまんまへのご支援をはじめ多大なご尽力を惜しみなく提供してくださっている皆様のおかげと感謝しています。

開催場所の変更を余儀なくされたり、コロナ禍の下、本来の趣旨に沿った活動ができず、頭

を悩ませる日々もありました。そのような中でも、「恩送り」には届きませんが、学校への出前食堂や幼稚園、保育園、小中学校への雑巾の贈呈、イベント等での協力やワークショップの開催などに挑戦して参りました。子ども食堂の拠点までなかなか足を運べない子ども、高齢者、交通弱者の方、いろいろな事情により利用したくても叶わない方のために、キッチンカーで市内一円くまなく回りたいというのが私たち「にんぎまんま」の夢でもあります。子ども食堂のイメージも最近では様変わりし、高齢者の独居問題や孤独死をはじめとして弱まっていた地域の繋がりを復活させる場所として、昨今では、地域の食堂として活動しているところが増えています。

「にんぎまんま」も地域住民のコミュニケーションの場や多世代交流拠点として、子どもだけでなく地域の誰もが気軽に立ち寄ることができるよう開かれた食堂・居場所となるようスタッフ一丸となって今後も活動していきたいと思っています。

引き続き、ご支援ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

スマイルキッチン  
にんぎまんま  
5年間のあゆみ



1 南薩地域地場産業振興センターで子ども食堂初開催！



2 普段遠くて行けない方たちのために出前食堂も始めました！



3 いつも支援してくれる皆さんを招き、5周年を祝いました！



4 拠点を現在の中原地区に移し、新型コロナウイルスの影響でテイクアウトでの提供に。



5 不要なタオルを回収し、雑巾にして小・中学校へ寄付する事業も行っています。

子ども食堂を利用したい方へ

開催日 毎月最終土曜日  
※3月と12月は第2土曜日  
場所 国見町252番地



▲のぼり旗が目印！

料金

幼児	無料
小学生	100円
中学生	200円
高校生以上	350円

子どもからお年寄りまでどなたでも参加できます。開催情報は、市のホームページやInstagramで発信しています。



▲Instagram

地域の皆さんの楽しみに

子どもたちや地域の皆さんの楽しみになればと思ひ、遠方ではありますが、季節の果物などをできる範囲で送らせていただいています。お口に合えば幸いです。



名古屋から支援して下さる  
藤川 哲夫さん・積子さん 夫妻

毎月の月末が楽しみ！

毎月の子ども食堂を楽しみにしています！ボランティアの皆さんも笑顔で接してくれるので温かい気持ちになります。



利用者  
ゆづき 小田 優月さん・優斗さん 姉弟

子ども食堂を支援したい方へ

子ども食堂は、寄付や助成金、ボランティアなどで運営されています。企業や団体、個人の方からの寄付や食材の提供を受け付けています。

主な支援の方法

- 食材などを提供する
- お金を寄付する
- ボランティアとして子ども食堂に参加する



支援を希望される方は問合せ先までご連絡ください。

■問合せ スマイルキッチン  
「にんぎまんま」  
代表 茅野 寿満子

TEL 090-9596-5447